

4/22 (月) 環境にやさしい地域社会を実現するため
小美玉市・茨城町・リーテム協働小型家電等回収促進プロジェクトの実施に係る協定を締結



島田市長、リーテム中島代表、小林町長
(株)リーテムより、小型家電回収ボックスが2台贈呈されました



協定締結の様子

町では、小型家電等の回収を促進するため、小美玉市、(株)リーテムと「小美玉市・茨城町・リーテム協働小型家電等回収促進プロジェクトの実施に係る協定」を締結しました。

このプロジェクトを通じて、高品位な廃棄物の再資源化促進やごみ処理施設で処分できない廃棄物の処理ルート確立や不法投棄防止など、官民それぞれが抱える共通の目標達成を目指します。

■ イベント回収

住民の皆様からお持ち込みいただいた小型家電や金属類を回収し、株式会社リーテムで資源化します。

令和元年度は年3回（7月7日、10月、2月）実施予定です（詳細は、広報紙やホームページでお知らせします）。

■ ボックス回収

茨城美野里環境組合の管内に回収ボックスを設置し、小型家電製品の回収を行います。現在、茨城町みどり環境課窓口、町総合福祉センター「ゆうゆう館」に設置し、今後さらに設置箇所を増やしていく予定です。

本格出荷を迎えて
茨城県知事に茨城町産メロンをPR



4月16日、JA水戸南部営農資材センター集荷所において、これから本格出荷を迎える町産メロンの目揃い会を開催しました。JA水戸茨城町メロン部会の清水猛部会長は「ここでしっかり目を揃えて良いものを出していきたい。」と話しました。

また、26日には、小林宣夫町長とJA水戸の八木岡努組合長、JA水戸茨城町メロン部会の清水猛部会長、長谷川重幸県議会議員ほか、関係者11人が大井

川和彦知事を表敬訪問し、これから最盛期を迎える町産メロンのPRをしました。町産メロンを試食した大井川知事からは「とても甘くておいしい。町のオリジナルブランド愛ちゃんメロンはネーミングがとても良い。今後も高品質、高付加価値なメロンを生産してください。」と高評価をいただきました。

町産メロンは、5月下旬からピークを迎え、6月下旬頃まで出荷の見通しです。

3/27 (水) 常陽銀行長岡支店
小学校新1年生へ防犯ブザー寄贈



町内の小学校新1年生の安全を守るため、(株)常陽銀行長岡支店長から、防犯ブザー220個が寄贈されました。そのほか、次のとおり児童生徒へ向けて寄贈がありました。ありがとうございました。

寄付者 (敬称略・順不同)	寄贈物品	指定用途
茨城県トヨタグループ	集金連絡袋	小中全校
茨城県石油商業組合	クリアファイル	新小学1年生
全国共済農業協同組合連合会茨城県本部	交通安全帽子	新小学1年生
(株)みずほファイナンシャルグループ 損保ジャパン日本興亜(株) 明治安田生命保険相互会社 第一生命保険(株)	黄色いワッペン	新小学1年生
水戸地区交通安全協会	[交通安全]ランドセルカバー かいておぼえる「あいえお」ひょう	新小学1年生
日本マクドナルド(株)	安全笛	新小学1年生
水戸地区交通安全協会 茨城支部	反射たすき	新中学1年生
茨城町交通安全母の会	反射ステッカー	新小学2年生

4/6 (土) 見頃を迎えた桜が会場を彩る
大戸地区 第25回さくらまつり



大戸地区社会福祉協議会は、大戸さくら公園で、第25回さくらまつりを開催しました。

満開の桜のもと、米寿・金婚・福祉功労者・三世同居家族に対する表彰や、子どもたちのヒップホップダンスなどの芸能発表が行われ、多くの地域住民が、楽しいひと時を過ごしました。

3/26 (火) 空家等の改善を目的として
シルバー人材センターと協定を締結



町は、空家等が管理不全な状態になることの防止及び管理不全な状態の解消を目的とし、(一社)茨城町シルバー人材センターと「茨城町空家等の適正管理の推進に関する協定」を締結しました。

町では、空き家を見に行くことが困難であったり、管理をしたくても信頼できる業者がわからず困っているなどの相談があったりした際に、茨城町シルバー人材センターの業務を紹介するなど、相談に応じます。また、茨城町シルバー人材センターでは、基本業務の契約を始め、除草作業等の追加作業を別途契約し、空家等を適正な状態に保ちます（詳しい業務内容については、それぞれのホームページをご確認ください）。

4/6 (土) プロジェクションマッピングを上映
ぬまさき夜桜花見会



ぬまさき元気実行委員会とぬまさき夜桜花見後援会の共催により、ぬまさき夜桜花見会が旧沼前小学校で開催されました。

今年は、プロジェクションマッピングの上映やeスポーツも行われ、校舎に映像が映し出されると子どもたちの歓声が沸き上がりました。

ぬまさき元気実行委員会 海老沢謙会長は「地域の方達が楽しく集う機会となれば。」と開催への思いを語りました。